

広野町空手スポーツ少年団の 3人が全国大会出場



↑遠藤町長に全国大会出場を報告する空手スポーツ少年団

7月30日（火）、広野町空手スポーツ少年団に所属する広野小学校5年生の矢内良誠さんと同2年生の矢内結菜さん、同1年生の浜尾葵さんが広野町役場を訪れ、8月3日（土）～4日（日）に東京武道館で開催される全日本少年少女空手道選手権にそれぞれ出場することを遠藤町長に報告しました。

遠藤町長は、「これまで練習した成果を十分に活かして全力で取り組んでください。町民みんなが応援しています。」と激励し、大会参加に係る費用の一部として、広野町文化スポーツ振興基金から助成金を手渡しました。

松井三郎掛川市長を表敬訪問



↑表敬訪問を受ける松井市長（左）

8月2日（金）、遠藤町長は静岡県掛川市の松井三郎市長を表敬訪問し、広野町への職員派遣に対し御礼の言葉を述べました。

松井市長は、「派遣している職員は色々と前向きに取り組む職員である。広野町で仕事ができていることは職員のためになると考えている。被災地の支援について、被災地を忘れないということが大事であると考えている。」と述べられました。

広野町婦人消防隊 優良女性防火クラブ表彰受賞を報告



↑遠藤町長に受賞を報告した磯辺広野町婦人消防隊長（中央）ら

8月9日（金）、広野町婦人消防隊の磯邊すみ江隊長と大和田咲子副隊長が広野町役場を訪れ、7月24日（水）に福島県庁で福島県女性防火クラブ連絡協議会会長より優良女性防火クラブ表彰を受けたことを遠藤町長に報告しました。今回の表彰は、広野町婦人消防の活動年数37年、火災予防啓発や出初め式および春・秋検閲への参加、津波避難訓練等各種訓練への参加（炊き出し訓練）などの活動に取り組んできた功績が認められ評価されました。

佐藤光茅ヶ崎市長を表敬訪問



↑表敬訪問を受ける佐藤市長（左）

8月2日（金）、遠藤町長は神奈川県茅ヶ崎市の佐藤光市長を表敬訪問し、広野町への職員派遣に対し御礼の言葉を述べました。

佐藤市長は、「微力ながら広野町の力になれるよう、今後も広野町への支援を継続するようしっかり体制を整えていきたい。広野町とのつながりを大切にしていきたい。」と述べられました。

広野産バナナ収穫式 愛称「綺麗（きれい）」に決定



↑バナナを収穫した内堀知事（左）と遠藤町長

8月19日（月）、ニッ沼総合公園内のビニールハウスにおいて、広野町振興公社が昨年秋から栽培しているバナナの収穫式が行われ、内堀雅雄知事と遠藤町長がバナナの房にはさみを入れて収穫しました。バナナの名称は、「朝陽に輝く水平線がととも綺麗なみかんの丘のある町のバナナ」で、愛称は「綺麗（きれい）」に決まりました。遠藤町長は、「バナナを復興の象徴とし、夢と希望を持って力強く前へと歩いていきたい。」と挨拶し、内堀知事は、「町民のきれいな心と福島を応援してくれる人のきれいな思いが詰まったバナナ。町と連携してPRしていく。」と述べられました。中津弘文振興公社社長は、「苗木のオーナー制の導入も検討し、安定的に栽培できる環境を整えていく。」と述べ、今後、観光農園とし、来場者に収穫を体験してもらう予定です。

東京電力HD(株)小早川社長が来庁



↑遠藤町長に説明をする小早川社長（写真中央）

8月5日（月）、東京電力ホールディングス(株)小早川智明社長が広野町役場を訪れ、遠藤町長に対して福島第二原子力発電所廃炉決定について報告しました。

小早川社長の説明を受け、遠藤町長は、「住民理解の下で、透明性を確保しながら廃炉に取り組んでもらいたい。徹底した安全管理と着実な廃炉の進捗を強く求めます。」と話しました。これに対し、小早川社長は、「安全かつ着実な廃炉作業を進めるとともに、適宜適切な情報公開を行い、地元の方々への丁寧な対応に努めます。」と話しました。

八雲神社浜下り神事



↑震災後初めて、折木地区内を練り歩く八雲神社の御神輿

7月28日（日）、折木地区にある八雲神社浜下り神事が震災後初めて開催され、氏子らが地区の安寧を願うとともに、伝統の継承を決意しました。当日は、本殿で神事が行われた後、ご神体を神輿に移し、烏帽子姿の青年団員が神輿を担ぎ、猿田彦を先頭に折木地区を練り歩き海岸に向かいました。折木海岸では震災後防潮堤が高く整備され直接海に入ることが困難なため、一旦祭場に神輿を安置し、汲んだ潮水を神輿に振りかける等の一連の神事を行いました。

また、社殿は東日本大震災で被災していましたが、平成28年5月に氏子らの手により改築され、拜殿には八雲神社の御歌として「八雲立つ」の神詠歌が掛けられました。

ふたば未来学園中・高に横断幕贈呈



↑松本教育長（右）から横断幕を受け取る丹野校長（左）

7月18日（木）、広野町は、ふたば未来学園中・高の運動部が出場する大会の応援などで活用していただくため、「必勝ふたば未来学園」と書かれた横断幕を同校に贈呈しました。贈呈式は、同校で行われ、松本正人広野町教育長が丹野純一校長に横断幕を手渡しました。横断幕は、第101回全国高等学校野球選手権福島県大会出場の際の応援などで活用され、保護者から好評を得ました。